評価項目	具体的な方策 (P)	結果と課題 (D)	自己評価 (c)		改善策 (A)	学校関係者評価			
			項目別	総合		評価		コメント	
						項目別	総合		
1 学力向上 *教務部 *進路指導部 *教育相談部 *情報教育部	①質の高い授業の追求 ア) 年2回の公開授業を実施するとともに、授業研修を充実させ、授業力の向上を図る。 イ) 先進校視察や外部セミナー等へ積極的に参加し、指導力の向上を図る。 ウ) 成績結果等の評価の在り方や結果を用いた指導方法について検討し、適切に授業や課題等に反映させる。 ----- ②自己教育力の育成 ア) マイハイスクールライフの記録や面談週間、家庭学習調査等を利用して、生徒の学習状況を把握し、適切な学習指導を行う。 ----- ③キャリア教育の推進 ア) 学校全体計画に基づき、具体的かつ積極的な推進を図る。 イ) 夢ナビ講座やオープンキャンパス等への参加を推進する。 ウ) 教科指導においてキャリア教育の視点を踏まえた実践を行う。	(結果) ・全職員による授業研究、テーマを設定した研究授業、各教科毎のまとめと発表と年計画に則した授業研修を実施できた。 ・各学年で学力検討会を行い、各教科による分析と指導方針を協議した。 (課題) ・先進校視察の参考事項等について、全職員で具体的に共有できるよう工夫する。 ・評価のあり方について、今後さらに検討していく必要がある。	3	3	①授業研修については幅広く意見を集約し参考にする ことで更なる充実を図るとともに、OJTの在り方についても検討していく。 ②先進校視察等での参考事項を整理し報告させること によって全職員で共有する。 ③学習成果のみならず、学習意欲や主体性等の観点別に評価する仕組みについて研究する。	3	3	・学校経営方針を全職員が理解し、組織体としての計画的かつ意欲的な取り組みが実践され、活力ある教育活動が展開されている。 ・先生方の創意みなぎる柔軟な発想のもと、生徒の目標実現に向け、やり抜く気概と耐性を育てていただきたい。 ・学習、学校行事、部活動等、生徒の更なる主体的な取り組みを助長していただきたい。 ・元気の良い挨拶、はきはきとした説明(発表)、はつらつとした講堂、態度をまず先生に、そして生徒に期待したい。	
			4			①学習実態調査を定期的に行い家庭学習状況を把握し、学習量の増加に取り組む。 ②主体的な学習が育つよう授業内容や課題等について研究を深める。			3
			3			①進路意識を高めるための活動(オープンキャンパスや講座、講演会等)の系統的な実施について更に検討を深める。 ②授業の開始と終了時にけじめをつけさせ、落ち着いた雰囲気醸成する。			3
2 進路目標の達成 *進路指導部 *渉外部 *情報教育部 *図書部	①確固たる進路意識の醸成 ア) 「育鵬」「合格体験記」等を用いて、進路指導の充実を図る。 イ) 「LHR」「図南タイム」「総合科学」の計画的な実施により、進路指導の充実を図る。 ----- ②進路指導体制の見直し ア) 生徒の実態を把握し、朝補習や土曜講座を計画的に実施し、放課後セミナーの充実を図る。 イ) 3年間を見通した進路指導計画に基づき、的確な実施を図る。 ----- ③キャリア教育の充実 ア) 鵬ドリカム講座の更なる充実を図り、インターンシップ等については、鵬同窓会とも連携を図り、試行的に実施する。 イ) 高大連携の継続について、検討を進めるとともに、その在り方について改善を図る。	(結果) ・「LHR」「総合的な学習の時間」を進路指導において系統的に活用することができた。 (課題) ・生徒の活動を中心に据えた進路指導を更に展開していく必要がある。 ----- (結果) ・各学年において学習会を実施し、学習に対する意識の高揚を図ることができた。 (課題) ・自学自習の在り方や家庭学習の充実など自立した学習ができるよう指導する必要がある。 ----- (結果) ・2学年において本校同窓会とタイアップしたインターンシップを実施することができた。 (課題) ・高大連携については、今後大学との連携を進めていく必要がある。	4	4	①進路指導については、常に点検・見直しを図り、充実に努める。 ②生徒の意欲を喚起する授業内容や進路指導を充実させ、進学実績の向上を図る。 ①学習会の開催時期や内容について改善に努める。 ②自学自習の方法や在り方について、徹底指導を行い家庭学習の充実を図る。	4	4	・学校外での研修等が教師、生徒の両面から進められていることはすばらしいと思います。これからも継続し、内容を深めて欲しいと思います。 ・自学自習については個人差がかなりあるように思えます。固定した学習にならないよう生徒同士が切磋琢磨できる環境づくりを更に進めて欲しいと思います。	
			4			①高大連携については、大学との協議を進める。 ②キャリア教育推進のための体制を更に充実させ、組織的な対応を図る。			4
			4						4

(注) 4段階評価・・・ 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

評価項目	具体的な方策（P）	結果と課題（D）	自己評価（c）		改善策（A）	学校関係者評価		
			項目別	総合		評価		コメント
						項目別	総合	
3 幅のある生徒を育成 *生徒指導部 *図書部 *環境保健部 *教育相談部	①「三兎追う」を目指し 挑戦する気概の育成 ア)FORMを通して言葉遣いや行動様式を身に付けさせる。 イ)学校行事等の企画・運営が、より生徒の主体的な活動を生かした取組になるよう改善を図る。 ウ)文武両道の精神を基に、質の高い部活動に取り組ませる。	(結果) ・イエローカードを見直し、自分の姿を見直すというフォームカードの提示によって、丁寧な生徒指導ができるよう改善できた。 ・部活動生集会や主将会を開催し、部活動の活性化と質の向上を図った。 (課題) ・学校行事のみならず日頃の活動で生徒自らが判断し行動できる力を育てる必要がある。	3		①学校行事や部活動等において、生徒自身が主体的に判断して行動できるよう事前指導や仕掛けを充実させる。 ②学習に対する姿勢や時間管理など学校生活の基本となる事柄について粘り強い指導を継続させていく。	3		・長濱校長の学校経営の手腕とリーダーシップに敬服しております。先生方及び生徒の皆さんの成長を学校に何う度に実感できました。先生方、本当にすばらしい教育実践ありがとうございます。ごさいました。 ・地域に対しての発信が今年度はかなり進められたと思います。これからは内容を含め、更なる連携の在り方を探ってください。 ・今や20～30人に1人はいると言われる性的マイノリティに関する問題は、思春期の高校生にとって大きな問題だと思えます。人権教育、性教育の中で、生徒への教育はもちろんのことクラス担任になる先生方にも（できれば全職員に）研修の機会を持っていただきたいと思えます。 ・生徒の学力向上、進路も霧水の達成の為に、先生方がいろいろな角度から生徒を指導し、又、先生方自身の向上のためには継続して行う。 ②中学校の主催する高校説明会の訪問だけでなく、日常的に個別訪問を行う。 ③地域の方々と情報交換会等の場を設定する。
	②「人間力」の育成 ア)「朝の読書」の更なる充実を図り、幅のある人材を育成する。 イ)主体的な清掃活動を促し、学校美化のみならず、社会貢献への意識を身に付けさせる。 ウ)保健講話やWYSH教育等の在り方について検討を深め、内容の充実を図る。	(結果) ・清掃開始時の黙想やチェックシート等を活用して活動の充実を図った。 ・性教育やWYSH教育を学年全体を通して実施することができた。 (課題) ・清掃活動へより主体的に取り組むことができるよう指導を継続する必要がある。	3	3	①「朝の読書」及び日頃の読書活動の推進を図る。 ②命を大切にすること、自分を大切にすることなど、適宜、継続的な指導を行っていく。 ③ゴミの分別の徹底を図るとともに、清掃活動について徹底指導を行う。	3	3	
	③「共生」意識の醸成 ア)安全教育や職員による立ち番指導の実施で、交通安全意識を高め、登下校等の安全を図る。 イ)人権教育を計画的に実施するとともに、推進体制の充実を図る。 ウ)ピア・サポート等を実施することで、生徒のコミュニケーション力の向上を図るとともに、教育相談等を充実する。 エ)定期的なアンケートを実施することで、いじめ等の早期発見に努めるとともに、根絶を図る。 オ)適切な防災訓練を実施し、防災意識の高揚を図る。	(結果) ・人権教育推進に関する組織を見直し、学校全体を通して、人権教育を進めることができた。 ・人権啓発週間では、各部の作品等の展示や昼休み時間を利用して吹奏楽の演奏やなぎなた部の演武など啓発活動が充実した。 ・地域の方々を招いての防災訓練及び講話を実施することができた。 ・各学年において計画的にピア・サポートを実施することができ、人間関係の構築の一助となった。 (課題) ・登下校に係る交通安全意識やマナー等の向上を図るため更なる指導が必要である。	4	3	①「挨拶の励行」を徹底するとともに、登下校時のマナーについても粘り強く継続指導を行う。 ②人権教育の計画的な指導を図るとともに、ピア・サポートを充実させ人間関係の醸成に努める。 ③地域の方々と連携した防災教育の在り方を更に検討していく。 ④ボランティア活動への参加を更に促し、社会貢献への意識を醸成する。	4		
4 地域との連携 *渉外部 *事務部 *情報教育部 *教務部 *進路指導部	①広報活動の充実・中高連携の推進 ア)学級通信や学年通信、学校HPを充実させ、幅広い広報を行う。 イ)オープンスクールや中学校訪問の充実を図る。 ウ)広報活動に努め、地域に根ざし、応援される学校を目指す。	(結果) ・「南高通信」を発行し、地域の自治会への配付したり、部活動で地域の活動へ参加したりするなど広報活動が充実した。 ・学年通信の定期的な発行、学校HPの迅速な更新ができた。 (課題) ・中学校訪問等を更に充実させ、本校教育活動への理解を深めていく必要がある。	4	4	①「南高通信」「学年通信」や学校HPの充実については継続して行う。 ②中学校の主催する高校説明会の訪問だけでなく、日常的に個別訪問を行う。 ③地域の方々と情報交換会等の場を設定する。	4	4	・生徒の学力向上、進路も霧水の達成の為に、先生方がいろいろな角度から生徒を指導し、又、先生方自身の向上のためには継続して行う。 ②中学校の主催する高校説明会の訪問だけでなく、日常的に個別訪問を行う。 ③地域の方々と情報交換会等の場を設定する。
	②PTA活動の充実・同窓会との連携 ア)講演会や「合格うどん」等において、PTAと教職員が密に連携し、企画・運営を行う。 イ)「鵬ドリカム講座」やインターンシップについて、同窓会と連携し充実を図る。	(結果) ・「合格うどん」では、テレビ等の取材を受けるなど充実した活動となった。 ・同窓会とタイアップしたインターンシップを実施することができた。 (課題) ・PTAや同窓会との更なる連携が必要である。	4	4	①PTAや同窓会と連携をとり、学校行事等への支援・協力を依頼していく。 ②スマホ・携帯等の取り扱いについては、協議を継続していく。	4	4	

(注) 4段階評価・・・ 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する